

## 1. チームの概要

東日本大震災や能登半島地震、また、令和元年房総半島台風や各地での豪雨災害など、地震や豪雨などの自然災害は毎年のように発生し、その規模も激甚化しており、防災体制の充実強化が求められる中、千葉県では、被災地の子供たちの学びの確保に係る支援を速やかに行うため、令和7年3月に千葉県災害時学校支援チームの事務局を立ち上げ、チーム作りを開始した。

この1年、チーム員が被災地で支援する際に必要となる知識等の養成研修等を行い、国や被災地の自治体からの要請に対応できる派遣体制を整えた。

## 2. 組織構成

### ○事務局

千葉県教育庁企画管理部教育総務課危機管理班

・研修内容の検討 ・研修の実施 ・派遣者の選出 ・派遣に伴う連絡調整 等

### ○チーム員

80名(本庁、教育事務所、総合教育センターの指導主事等)

チーム員全員が教員籍(小・中・高・特支)

※被災地に派遣するメンバーについては、事前に数チーム構成済(チーム員にはその旨連絡済)。

国及び被災地の自治体からの様々な要請(人数、校種など)に対して柔軟に対応できるようにする。

## 3. 養成方法、周知・還元方法

### (1) 研修

- ①被災地学び支援派遣等枠組み(D-EST)の構築等(オンデマンド)
- ②大学学長、EARTH員(兵庫県)、スクールカウンセラースーパーバイザーによる講話(ZOOM)
- ③能登半島地震派遣職員による講話(オンデマンド)

### (2) 周知・還元方法

- ①各種研修会での周知(事務局)
- ②学校訪問での周知(事務局)
- ③各所属での報告による周知(チーム員)
- ④チーム員の学校現場復帰後、自校や近隣の学校などへの情報共有等(チーム員)

各種研修会等で先生方に、D-EST、支援チームについての事業内容等を説明、周知!

## 4. 今後の展開

- ハンドブック配付
- 次年度のチーム員選定
- 研修内容検討



各研修会で事務局からの周知の様子